

令和6年度 特色ある区づくり予算一覧（区役所企画事業）（案）

【新規】

単位：千円

番号	区分	事業名	担当	R5	R6	備考
1	新規	みなみく「未来」へつなげるSDGs	区民生活課	0	550	
2	新規	笹川邸 和のおもてなし	地域総務課	0	3,750	
3	新規	伝えたい南区の“宝” ～いいとこ撮りコンテスト～	地域総務課	0	1,000	
4	新規	探検！発見！ぐるっと南区	産業振興課	0	1,600	
5	新規	南区エダマメPRプロジェクト	産業振興課	0	900	
6	新規	HOTに発信！白根大風合戦プロモーション	産業振興課	0	3,900	

【継続・拡充】

番号	区分	事業名	担当	R5	R6	備考
1	拡充 2年目	南区バス利用促進事業	地域総務課	1,000	1,100	
2	継続 10年目	未来創造教室	教育支援センター	3,150	3,150	
3	継続 6年目	白根高校との まちづくり連携事業	白根地区公民館	300	300	
4	拡充 2年目		地域総務課	1,700	1,700	
5	継続 4年目	南区未来創生事業	地域総務課	2,000	1,800	
6	拡充 3年目	旧月潟駅かほCha事業	建設課	1,500	1,500	
7	継続 4年目	果樹 新規担い手等支援事業	産業振興課	1,250	1,250	

区役所企画事業 計 22,500 千円

事業名	事務局	R5	R6	備考
区自治協議会提案事業	地域総務課	5,500	5,500	

南区 特色ある区づくり事業 合計	28,000 千円
---------------------	-----------

令和6年度 南区特色ある区づくり予算（区役所企画事業）（案）

【新規事業】

番号	区分	事業名	委員提案	区ビジョン	区ビジョン実施計画	担当課 担当部会	事業概要
1	新規	みなみく「未来」 へつなげるSDGs		快適な住環境の推進	保育園や学校、地域における啓発	区民生活課 第1部会	<p>【R6予算要求額】 550,000円</p> <p>【事業目的】 未来を担う子どもたちを対象に、誰でも、身近で、簡単に取り組める段ボールコンポストでSDGs教育を実施し、今後の環境問題等への取り組みのきっかけづくりとするもの。</p> <p>【事業内容】 ・保育園児・小学生を対象に、段ボールコンポストを用いたSDGsの取り組みを行う。 ・さらに、子ども食堂へ収穫した野菜の提供をするとともに、この取り組みを紹介する。</p>
2	新規	笹川邸 和のおもてなし		地域の宝のみがきと次世代への継承	文化施設の魅力向上および知名度向上の推進	地域総務課 第3部会	<p>【R6予算要求額】 3,750,000円</p> <p>【事業目的】 国の重要文化財である旧笹川家住宅の魅力向上のため、四季を感じ、通年楽しめるイベント等を開催し、新たな魅力の創出を図る。</p> <p>【事業内容】 ・ヒカリの演出や風鈴の飾り付け、ホテル観賞会など四季を通じたイベントを開催する。</p>
3	新規	伝えたい南区の“宝” ～いいとこ撮りコンテスト～		発信力の向上と交流人口の拡大	南区が誇る観光、文化資源をホームページ、SNSを活用した効果的な情報発信	地域総務課 第3部会	<p>【R6予算要求額】 1,000,000円</p> <p>【事業目的】 写真コンテストを開催し、南区の魅力や自慢あふれる写真を応募してもらうことで、南区の魅力の再発見につなげてもらうほか、応募作品を区の広報誌やSNS等で活用し、区のPRの一助とする。</p> <p>【事業内容】 ・写真（風合戦部門、その他部門）の募集 ・応募作品は区のPRのために使用できるものとする。</p>
4	新規	探検！発見！ ぐるっと南区		まちなかの活性化	まち歩きイベント開催の推進	産業振興課 第3部会	<p>【R6予算要求額】 1,600,000円</p> <p>【事業目的】 まち歩きを通して南区の魅力を再発見し、交流人口の拡大につなげる。</p> <p>【事業内容】 ・まち歩きPR妖怪キャラクターを活用した区内周遊イベントと商店街を中心としたまち歩きイベントの開催 ・ボランティアガイド養成講座の開催 ・まち歩き情報（パンフレット）の制作</p>
5	新規	南区エダマ×PR プロジェクト		特産品の産地化・ブランド化の促進	南区農産物の認知度向上	産業振興課 第3部会	<p>【R6予算要求額】 900,000円</p> <p>【事業目的】 新潟県の枝豆出荷量第2位を誇る「しろねえだまめ」の知名度向上及び生産・消費拡大とともに、選果場で発生する規格外品の販路拡大を目指す。</p> <p>【事業内容】 ・ふるさと村で南区フェアを開催 ・規格外品の活用と販路拡大を図るため、見本市等に出展 ・区内商業分野と連携したPR</p>
6	新規	HOTに発信！白根大風合戦プロモーション		発信力の向上と交流人口の拡大	「白根大風合戦」をSNSなどを活用し、全国、海外に向けた情報発信	産業振興課 第3部会	<p>【R6予算要求額】 3,900,000円</p> <p>【事業目的】 ・白根大風合戦のライブ配信などを通して風合戦のを広くPRする。 ・風組以外の区民や市民にも広く興味・関心を持ってもらい、風合戦文化を認知してもらう。</p> <p>【事業内容】 ・ライブ配信（3日間：初日・土日）及びPR大風の制作 ・しろね大風と歴史の館30周年記念の大風制作と風あげ ・SNS等によるショートムービーの活用のほか、新たな広報媒体によるPR</p>

【継続】

番号	区分	事業名	委員提案	区ビジョン	区ビジョン実施計画	担当課 担当部会	事業概要	R5年度の取り組み
1	継続 2年目	区バス 乗車促進事業	○	便利で快適な公共交通体系の構築	区の公共交通二一 スの把握	地域総務課 第1部会	<p>【R6予算要求額】 1,100,000円</p> <p>【事業目的】 区バスの利用促進</p> <p>【事業内容】 ・若年層の公共交通の利用啓発に向け、高校生世代を対象に区バス利用チケットを配布することで、継続した利用を促進する。 ・区内循環バスぐるりん号車内アナウンスを保育園児などを中心に区民の声を活用する。</p>	<p>【R5予算額】 1,000,000円</p> <p>【事業概要】 ○白根高校生と区内高校生年齢を対象に、4、5月の2か月間利用可能な区バス乗車チケットを（40枚ひと綴り）配布 ○利用者の声の把握や乗車誘導を図るため、プレゼント付きアンケートを実施</p> <p>【評価】 ○新年度4月から対象者へ配布することで、昨年同月の乗車数を上回った。（前年同月比：14.5%、238名増） ○引き続き若年層に向け、バス乗車チケットによる乗車促進事業を実施することで、区バスへの継続乗車と公共交通への理解や愛着の向上に繋がるようR6も継続したい。</p>
2	継続 10年目	未来創造教室		地域で支え、地域で活躍する教育活動の推進	未来創造教室の実施	南区教育支援センター 第2部会	<p>【R6予算要求額】 3,150,000円</p> <p>【事業目的】 南区の小中学校の実情に合った地域学習の推進により、地域とのかかわりを見つめ直したり、将来の自分について考えたりする場を提供する。</p> <p>【事業内容】 ・南区の自然、産業、暮らし、文化等から子どもが学習課題を見つけ、地域の人々から学んだり、自分たちで考えて行動したりする学習を推進する。</p>	<p>【R5予算額】 3,150,000円</p> <p>【事業概要】 南区の自然、産業、暮らし、文化等から子どもが学習課題を見つけ、地域の人々から学んだり、自分たちで考えて行動したりすることを通して、郷土のよさに気づき、郷土を愛し、これからの社会をたくましく生き抜く力を育む学習を推進する。 ○対象：区内全中学校6校および全小学校11校で実施</p> <p>【評価】 ○児童生徒の参加者満足度アンケート（令和5年度）で肯定的評価が94.8%であり、児童生徒は地域とのかかわりながら郷土を見つめ直したり、将来の自分について考えたりする学習となっている。 ○子どもたちの学びの一層の深化と地域の活性化のためにも、極めて重要な取組であり、今後も継続して実施していきたいと考える。</p>
3	継続 6年目	白根高校との まちづくり 連携事業	○	地域で支え、地域で活躍する教育活動の推進	白根高校とのまち づくり連携	地域総務課 白根地区 公民館 第2部会	<p>【R6予算要求額】 2,000,000円</p> <p>【事業目的】 区内唯一の高等学校である県立白根高等学校との連携を深め、地域とのネットワークづくりを推進するとともに、まちづくりの人材育成につなげ、地域へと還元する。</p> <p>【事業内容】 ・白根高等学校にコーディネーターを配置し、学校と地域活動の調整を行い、地域活動への円滑な参加を進める。 ・地域課題解決方法を考える講座（しろみな塾）の開催。 ・R3年度に締結した「南区と白根高校との連携協定」に関する取り組みの活性化。</p>	<p>【R5予算額】 2,000,000円</p> <p>【事業概要】 ○白根高校に地域コーディネーターを配置し、学校と地域、社会教育施設や関係機関との調整役となり、円滑な地域活動への参加を進める。 ○「しろみな塾」の実施 白根高校生を対象に、地域課題解決方法を考える講座を行う。また白根高校「総合的な探究の時間」と連携し、講座内容を地域で実践する取り組みを行う。 ○令和3年度に締結した連携協定に基づき、区地域総務課が事務局となり、白根高校・地域団体・行政のネットワークづくりを強化する。</p> <p>【評価】 ○白根高校と地域団体及び団体相互の情報共有や意見交換を行い、連携協定の活性化を図った。 ○地域の一員としてまちづくりに積極的に取り組む白根高校を南区全体で応援して行くために、引き続き取り組んでいきたいと考える。</p>
4	継続 4年目	南区 未来創生事業		区民と行政の共同の推進	地域団体との協働による事業実施	地域総務課 産業振興課 第3部会	<p>【R6予算要求額】 1,800,000円</p> <p>【事業目的】 「南区の明るい未来」実現に向け、区内民間団体等で構成する「にいがた南区創生会議」が策定した「南区未来ビジョン」に基づいた活動や事業を支援する。</p> <p>【事業内容】 ・R2に策定した「南区未来ビジョン」に基づき、創生会議内で各プロジェクトチームを構成し活動する。 ・南区内の観光コンテンツとして、農産物・歴史・文化・体験などの掘り起こしと、周辺の温泉地と連携による観光ツアーやガイド養成、観光広域連携のほか、白根高校の生徒向け探求事業支援など、様々な事業展開に取り組む。</p>	<p>【R5予算額】 2,000,000円</p> <p>【事業概要】 区内民間団体の若者などで構成する「にいがた南区創生会議」が策定した「南区未来ビジョン」の実現に向け、同団体が主体となり、観光の広域連携事業、果樹の未病対策事業、白根高校魅力アップ事業、ももラコッテ事業、に取り組む。</p> <p>【評価】 ○観光は南区観光ツアーの実施、ガイドの養成、周辺温泉地と連携 ○果樹はル エクチエの褐色斑点病防止にドローン調査や抗体検査 ○白根高校生の探求授業支援や文化祭の支援 ○ももラコッテ商業開発進展に向けた意見交換 各プロジェクトに区役所から理事や事務局として参画することで、地域団体との協働による事業を実施することができた。 区内若者と協働によるまちづくりとして、R6も継続したい。</p>

【継続】（続き）

番号	区分	事業名	委員提案	区ビジョン	区ビジョン実施計画	担当課 担当部会	事業概要	R5年度の取り組み
5	継続 3年目	旧月瀧駅 かほCha事業		地域の宝も のみがきと 次世代への 継承	市民文化遺産である旧月瀧駅かほ ちや電車のイベント活用	建設課 第3部会	<p>【R6予算要求額】 1,500,000円</p> <p>【事業目的】 旧月瀧駅のかほちや電車等の保存方法や活用方法を検討し、地域の宝の保全とまちの活性化につなげる。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗車体験等PRイベントの実施 旧月瀧駅の活用を考えるワークショップ PR用パンフレットの更新 	<p>【R5予算額】 1,500,000円</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> PRイベントの実施 桜まつり 例年の夜桜ライトアップに加え、ファミリーコンサートや駄菓子屋の出店などを行った。（来訪者約1,700名） 乗車体験イベント 廃線となった線路上を昨年に引き続き、乗客を乗せて往復約100m運行した。（来訪者約2,300名） 保存・活用勉強会の実施 碓氷峠鉄道文化むらのスタッフらと勉強会兼意見交換会を実施 <p>【評価】 施設活用や広報活動の工夫で、乗車体験イベントでは事前予約制の360枚の切符が即完売となるほど大人気で、全国各地から来訪があった。来訪者も増加傾向にあり、保存の検討を行いながら、地域の宝であるかほちや電車を活用し、まちの活性化につながってきた。今後はかほちや電車保存会単独での活動を目指し、運営体制強化・利活用の充実化を図る必要があるため、継続して実施したい。</p>
6	継続 4年目	果樹 新規担い手 等支援事業	○	多様な担い 手の育成	新規就農者や青年 就農者の相談の場 の明確化とサポー ト	産業振興課 第3部会	<p>【R6予算要求額】 1,250,000円</p> <p>【事業目的】 果樹農家数、樹園地面積の減少に対応するため、新規担い手の確保及び樹園地の円滑な引継ぎにより、産地の存続を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区外からの新規就農者に対する、アパート等の家賃補助 里親のもとで研修を実施した際の里親助成 営農継続が困難になった樹園地の管理体制についての検討 	<p>【R5予算額】 1,250,000円</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 区外から南区へ移住した新規就農者に対するアパート等の家賃補助（現在1名） 新規就農者が里親のもとで研修を実施した際の里親助成（現在0名） 各種団体主催の就農相談会への参加。（現在3回） 南区産果樹と新規就農のWeb広告によるPR。（11月1日～1月末まで実施） <p>【評価】 農業分野での担い手不足は重要課題であり、特に果樹の新規就農者が技術習得し経営を安定させるまで、時間がかかり継続的な支援が必要である。本市の担い手対策である「新潟市アグリベース事業」も活用しながら、南区の特色である果樹での担い手対策を重点的に行い、「南区果樹担い手協議会」において効果検証と事業の見直しを行いながら、継続的な支援を行っていききたい。</p>